

## 一散居と屋敷林を劇に一 観客 沢山の感動と刺激もらう

10月16日(日)砺波市立南部小学校の学習発表会で4年生全員出演の劇「屋敷林に感謝」が発表された。屋敷林と人の関わり、内容、効用をわかりやすく、楽しく表現し、父兄や家族に感動とたくさんの刺激を与えた。

何人もの方が「屋敷林をみなおした」、「今まで思っていたことを考えなおさねば」と口にされ、帰宅後家族の話題になっている。

担任の先生は、深く屋敷林のことを学習し、子供達の見線で理解できるようにシナリオをつくれ、実際の屋敷林内を子どもたちと調査し、体験されたものを発表に繋げられたものと思われる。散村と屋敷林を守ろうという最後の全員唱和は、観客の胸をつきました。

× × × ×

10月27日(木)北日本新聞の子どものページに「4年生全員で感謝の劇」の大きな記事が掲載された。その中身は学習発表会の写真と「宝物しょうかい・屋敷林」というテーマで池田万裕子さんの作文がのせられた。



市街地のカイニヨ(カイニヨ苑)維持に智恵を

(第3種郵便物認可) <平成23年10月27日> 北日本新聞

のびのび木曜日 **ぶんぶんジュニ**

学習発表会で「屋敷林に感謝」の劇を披露する4年生  
砺波南部小学校

### 4年生全員で感謝の劇

**★屋敷林**  
砺波南部小学校4年  
池田 万裕子さん

**宝物しょうかい**  
します

砺波南部小学校では4年生になると、総合的な学習の時間に散居村と屋敷林について学習します。  
散居村とは1軒1軒の家が100~150m間隔で、ぼつんぼつんと離れている村のことを言います。その家の周りを取り囲んでいる木々のことを、屋敷林と言います。  
ことしの学習発表会では4年生全員で「屋敷林に感謝!!」という劇を披露しました。だんだん減っている屋敷林の素晴らしさや大切さを伝えました。

確かに私の家の周りでも、家の建て替えや車庫をつくる時に屋敷林を切ったり、落ち葉掃除が大変で困っているという話を聞いたりします。  
でも屋敷林は強風や雪から家を守ったり、夏の暑さや冬の寒さを和らげたりしてくれます。また二酸化炭素を吸って酸素を出してくれます。クリ、柿、梅などは花を目で見て楽しんで、実を食べて楽しむこともできます。  
屋敷林のおかげで私たちは

毎日快適に過ごし、安らぎと潤いをもたらしていることに気付きます。私の家の窓を開けると季節や時間によっていろいろな違う散居村や屋敷林の風景が見られます。特に私は春の夕方、水が張った田にアズマダチの家と屋敷林が光って映る景色が大好きで、ずっと見ていたくなります。この砺波の宝物の散居村と屋敷林をずっと守って残していきたいです。私が大人になっても、同じ景色を見ることができたらいいです。

## カイニヨの話——「木の大切さがわかった」

10/27、11/28の2回、砺波市立 南部小学校4年生(2クラス)の総合学習時間で、「屋敷林とカイニヨ倶楽部」のテーマで高畑邦男さん(カイニヨ倶楽部理事)がお話しました。2回の講座で高畑さんは、屋敷林の中味と効用、存在する価値、台風時の被害と復旧、カイニヨ倶楽部の活動、砺波散村の誇り、等に加え、高畑さんのカイニヨへの思い、木材を使った暮らし、長年働いてきたトンネル工事の体験やその中から出た石の種類等の体験談も取入れ話した。後日、担任の先生から、49名の子どもたちの感想文が届けられた。子供達の受け止め方や、思い入れに色んな個性があり、大変内容の豊かなものだった。その一部を掲載する。(学校の依頼もあり、イニシャルで)

× × × ×

M. K 緑の真珠という言葉がとっても好きな言葉になりました。散居村はやっぱり綺麗なんだなと思いました。砺波平野はとても大切なことがさらにわかってきました。木は本当に大切なもので私は屋敷林を守りたいです。

M. M 散居村を世界遺産にしたいといわれてすごい目当て(目標)をつけたなと思いました。カイニヨ倶楽部はカイニヨの好きな人の集りで会員は90名いて、すごいなあと思いました。学校の木の本数は、1,459本だと聞いてびっくりしました。

M. T カイニヨ倶楽部では少しでもカイニヨが増えるように木を植える手伝いもしていることがわかりました。庭の掃除もしておられるのにはびっくりしました。雨の日でもカッパを着て掃除されることがわかって感心しました。

M. S 高畑さんの家のカイニヨよりは、本数は少ないですが、私の家にも木があります。私は木は大切なものだと思うし、実のなるイチジクやカキやモモなどが好きだから家にある木はみんな大事にしたいと思います。

S. H 一番心に残ったことは、高畑さんの家のリフォームの時に少しでも木を使って作るという工夫をなさっていたことです。木で食器棚を作り、トイレのまわりも木にされたということでした。私の家はそうした木でできてないので、木を大切に使って下さる家があっという間なと思いました。その大切なカイニヨがだんだん減っているといわれて、私は悲しいです。

T. U 高畑さんのおかげで、学校にある木の種類が57種類、全部で1,459本あるということを知りました。ジャンボ、メタセコイヤという木もあり、100米になるということがわかりました。そして、私たちの生まれたころ大きな台風が来て、木が一杯倒れたと聞き、大変だったろうと思いました。

H. F 高畑さんの話を聞き、屋敷林を守っていきたくて思いました。屋敷林は砺波の大切なものだし、屋敷林のいいところが沢山あるからです。安らぎやうまいおいを与えてくれたり、空気がきれいになったり、屋敷林は大事な存在だと思います。僕が大きくなったらカイニヨ倶楽部に入って屋敷林を守っていきたくて思っています。

T. H カイニヨ倶楽部の活動がよくわかりました。屋敷林のこと、学校の木のことも知ることができました。お話しの中で大切な屋敷林が減っていることがよくわかりました。

K. H クヌギまでもらい感謝しています。それに石のサンプルを見せてもらい、びっくりしました。屋敷林の勉強をする前は、ぜんぜん、何のことかわかっていませんでしたが、高畑さんの話で少しわかりました。

M. S トンネル工事をしていらっやっつたとき、びっくりしました。屋敷林が減っていることに「悲しい」、「もったいない」、「守りたい」の思いを聞き、一番感じた気がしました。

H. E 高畑さんの少しでもいいから木を残せたらいいと思う気持はすてきな気持だと思いました。私も少しでも木を残せたらいいです。学校の1,459本も大切に育てたいです。また、休み時間にポプラの木、サクラの木、南部の森の木を見ます。何年も生きられるようにしましょう。

H. K 田を売ってもカイニヨは売ると言ってきた話を聞き、カイニヨは売れると思っていただけよくわかりました。

R. H 驚いたのは、砺波と長野の屋敷林が違うということでした。

S. S スギは日光や寒い風から家を守るだけでなく、家が倒れた時、スギの木で家がつくれると聞き、びっくりしました。

<おしらせ>

①平成23年秋の活動「屋敷林の植栽」中止。明春に延期。  
役員会で延期することにしました。敷地に新植や補植を希望または近所で勧めたい家があれば、紹介してください。

②砺波市は「砺波市景観まちづくり計画」を全地区に説明し、市民の合意と活動参加の訴えを11月から実施  
景観の中心となるのは、屋敷林(カイニヨ)で、その維持・保全是各戸に加え、市民全体の参加・意識の高揚のなかで、具体化する課題です。そのための市の試案が説明されるもので、大いに注目し、前進のために協力したいものです。その説明の中で各種支援制度の「イメージ」が提案されています。